

# 山形大学附属学校園だより 六稜

2015.3.12

【発行】  
山形大学附属学校園

【印刷】  
坂部印刷株式会社



『お見さんすごいな〜』(幼・特交流) ベンチのメンテナンス

日頃から附属学校園保護者のみなさんには、附属学校園のために大変なご支援とご貢献をいただいています。まずは、お礼を申し上げます。

附属学校園の歴史は、136年前の山形県師範学校の開設後、すぐにできた附属小学校の開校に始まります。この長い歴史と伝統をもつ山形大学附属学校園は、山形県の学校教員養成にとつて無くてならないものであります。それと同時に山形大学の教育と研究の1つの場として、さらに、山形県内の先進的な授業開発の場としても重要な役割を担っています。

11年前に、山形大学も国の機関から一法人になりました。そして、師範学校の伝統をもちつ、教育学部をもつ教員養成系大学から非教員養成系大学へと変遷してきています。そんな中でも、附属学校園は国立学校として存続しつつ、その後、附属学校園のあり方については検討されてきて、現在に至っています。附属学校園はお子様を育てる教育機関というだけでなく、日本の、そして山形県の教育の将来の姿づくりという役割も果たしていることをあらためて認識していただくよう保護者のみなさんにお願いたします。もちろん、山形大学といたしましても、附属学校園のあり方の検討と運営の改善に最大限の努力をしていきます。



山形大学長  
小山 清人

保護者に伝えたいこと



附属学校園運営部長  
佐藤 圓治

運営部長退任にあたって

附属学校園の同窓会およびPTAの皆様には、日頃よりご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

私は、平成25年4月より教育実習担当運営部長として1年間、平成26年4月より運営部長として1年間を運営部に携わりました。平成21年度に発足した附属学校園運営体制では、運営部の大学教員3名は附属学校園を統括的に見ていくことになっております。運営部での仕事を通じて、改めて附属学校園の豊富で内容の濃い教育活動を目の当たりにしました。従って、教育実習、大学と附属学校園との共同研究、公開研究会等により附属学校園から情報発信される教育活動内容は、地域の学校にとっても大変重要になると思います。今後、大学の第2期中期目標・中期計画の評価・成果を踏まえて、附属学校園の教育活動が、一段と向上することを願っております。

この運営部での2年間、附属学校園の教職員、PTA、同窓会そして事務局の皆様には、大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。今後の山形大学附属学校園の益々の発展を祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。

本年度で2年目となる研究主題「対話力をみがき、実践力を高める授業のあり方」のもと5月29日・30日に学習指導研究協議会を開催しました。

6月の市中体連では野球・男子卓球・男子剣道第三位、個人戦では延べ32名が入賞しました。3年齋藤恒さんが陸上四種競技で東北第1位でした。文化面では英語弁論大会において、3年佐藤瑞恵さんが弁論の部で全国大会出場、3年堤雛子さんが唱喙の部で東北第1位でした。応援ありがとうございました。

研究テーマ「対話力をみがき、実践力を高める授業のあり方」

主な行事と日程

- 4月28日 PTA総会 歓迎会
- 5月15日 開校記念式  
講演者 結城章夫氏(山形大学前学長)
- 5月29・30日 公開研究会
- 7月4日 大運動会
- 8月30日 PTAソフトバレーボール大会
- 10月12日 一中学区ソフトボール大会
- 11月6日 校内合唱コンクール

附属中学校

今年度の附属学校園

今年度、附属特別支援学校は創立40周年を迎え、1年間を通して児童生徒全員で40周年をお祝いしました。5月10日には、創立40周年記念式典が行われました。児童生徒でケーキの飾りつけをしたり、一人一人が鉢に花を植えたりして学校の誕生日をお祝いしました。6月8日には、昨年校舎改修で行われなかった「ふれあい運動会」が2年ぶりに行われました。新たに赤青黄の縦割りの3組に分かれ、個人競技や団体競技で競い合いました。10月には、児童生徒から募集した言葉をもとに詩を作った、学校の歌「スマイル」が完成しました。その後各学部で練習に取り組み、「ふれあい祭」の全校活動では、「スマイル」の合唱を保護者や参観していただいたお客様に披露しました。「スマイル」はこれからも、大切に歌っていききたいと思います。

研究テーマ「豊かな生活につながる「分かる」「できる」「楽しい」授業作り(1年次)

～教育的ニーズシートによるRPDCAサイクルの実践～

主な行事と日程

- 4月26日 PTA総会
- 5月10日 創立40周年記念式
- 6月8日 ふれあい運動会
- 10月26日 PTA親子レクリエーション
- 11月28日 公開研究会
- 1月31日 ふれあい祭

附属特別支援学校

附属小学校

附属幼稚園は、「くよい環境」に「くよい子」が育つを合い言葉に、子どもの主体的な遊びを大切にしています。遊びを通して生きる力の根っことなる体(命)・心・学び(知)の根っこを育てています。

今年度は、多様な文化や社会にふれる経験として、山形大学の山口常夫先生とえいごで遊んだり、同大学の中国からの留学生との交流会をしたりしました。また、三附との交流もこれまで以上に充実した一年となりました。附属の縦のつながりを大切にし、今後も、子ども達にとってよりよい環境を創っていきたく考えています。

研究テーマ「幼児期に育てたい言葉～子どもの姿から言葉の育ちを探る～」

主な行事と日程

- 4月23日 PTA総会
- 5月10日 親子園外保育
- 6月13日 公開研究会
- 6月26日 創立記念式
- 8月16日 ふよう夏祭り
- 9月13日 運動会
- 10月19日 PTAいも煮会
- 12月4・11・17日 ステージフェスティバル
- 2月20日 さくら組さんありがとうの会

附属幼稚園

本年度は、校舎の耐震化改修工事が本格化し、仮教室での学習や仕出し弁当による給食など、特別な1年間となりました。そのため、公開研究発表会もやむなく見送りとなりました。(代わりに教科領域等研究会を3回開催し、授業研究を進めてきました。)

すでに、低学年棟と給食センターが完成し、2月末までに高学年棟も完成します。そして、次年度の秋頃までに、管理棟と中学年棟が順次完成し、全ての改修工事が終了する予定です。いろいろな面でご不便をおかけしますが、引き続きご協力をお願いいたします。

附属間交流として、1年生や5年生と幼稚園児の遊びや学習の交流、3、4年複組と特別支援学校小学部との共同学習、6年生と中学校2年生との小中合唱交流会など、様々な交流活動を通して、親交を深めることができました。これからも、縦割りの「みりの活動」同様に、附属間交流も大切に取り組んでいきたいと思います。

研究テーマ「学び続ける子どもの育成」

主な行事と日程

- 4月25日 PTA総会 歓迎会
- 5月20日 開校記念式
- 9月14日 みりのスポーツフェスティバル
- 10月12日 一中学区ソフトボール大会
- 11月15日 PTAレクリエーション大会
- 2月26日 6年生を送る会

附属小学校

編集後記

山形大学附属学校園だより「六稜」の第七号をお届けいたします。

今年度のスタートは、消費税が8%で始まりました。自然災害や風水害等もある一方で、リニア新幹線の着工や水素電池の開発の推進、そして、日本人3名がノーベル物理学賞を受賞するなど、日本の物作りや物理・化学分野の底力を感じるニュースには、大きな希望を感じた年でした。

四附の附属PTA活動及び未来を拓く希望の光である附属学校園の幼児・児童・生徒の皆さんの、学業はもとより文化・スポーツでの活躍、そして温かい四附の交流の一端を、限られた紙面の中で紹介いたしました。

学校園と保護者が力を合わせ、そして運営部の先生方に多くのご支援を賜り、附属の子ども達が健やかに成長した一年に、心より感謝申しあげ編集後記といたします。

編集委員  
柴田佳奈子・木島真由美(幼)  
佐藤優子・下山久美子(小)  
笠原博美・橋本いずみ(中)  
大場幸枝・山川奈穂(特)



親子サッカー教室(特PTA)



運動会(中PTA)



引越し作業(小PTA)



ふよう夏祭り(幼PTA)

PTA活動

昨年からの校舎改修工事も無事に終了し、今年度より明るく・綺麗になった校舎での授業が始まりました。児童生徒が、体育館やグラウンドで元気に体を動かしている姿はとてすばらしく感じます。今年度も役員はじめ保護者の皆さんのおかげでPTA活動も円滑に進めることができました。在校生五十五名からなるPTAですので、規模は大きくありませんが、逆に一人一人の顔が見える活動であることが特徴です。また、小学部・中学部・高等部と年齢幅があり、さまざまなニーズに併せた活動が求められ、試行錯誤の活動もあります。しかしながら「全ては子ども達のために」と先生方と協力し、より良い学校生活を送れるよう応援していきたいと思っております。今年度、学校創立四十周年を迎えましたが、それはPTA活動の四十周年でもあります。一人が皆のために・皆が一人のために、新たな校舎で新たな歴史の第一歩を確実に踏み出すためにこれからもPTA活動にご協力をお願いいたします。

附属特別支援学校PTA会長 佐藤 隆成

PTA活動に寄せて

中学校にもなりますと、学校内活動は生徒の自主性に委ねられる部分が中心となり、保護者が直接活動をサポートする部分は、運動会や施設整備、公開研究会の補助などに限られてきます。一方で生徒達が関わる活動の範囲や役割は大きく広がります。それぞれの活動を通して悩みを抱えたり、壁を乗り越えたりして成長していくわけですが、その環境を整えるのがPTAの大きな役割と言えます。そのためには先生方の考え方を理解する機会を持つこと、保護者間で子どもとの関わり方についての情報を共有していくことが大切です。春の歓送迎会、夏のスポーツ大会、学年懇親会などとても有意義な機会ですので、是非とも積極的に参加いただきたいと思います。また本年はSNSと子ども達の関わりを題材とした外部の研修が多数開催されました。各学年総会で内容をご紹介申し上げましたがお伝えできたのはごく一部であり、その展開について今後検討していかなければならないと思っております。

附属中学校PTA会長 鈴木 吉徳

PTAの活動にUSN



全国愛鳥週間ポスター 連盟会長賞 附小3年 佐藤 隆成さん



クリスマスツリーを作ろう(小・特)



音楽交流会(中・特)



合唱交流(小・中)



運動会ボランティア(幼・中)



高等部ハートバザー(幼・特)



いっしょに遊ぼう(幼・小)

交流学习の様子

「PTA活動に模範解答はない。」これは、先日参加した近畿国立大学附属学校園PTA連合会実践活動協議会において、近畿地区会長がおっしゃっていた言葉です。PTA活動には、数学の世界のように明確な答えはありません。自ら考え、同じ志を持つPTAの仲間と共に考え、子ども達・教職員・保護者にとってよりよい答えを導き出していく。このような姿勢が、PTAのあるべき姿なのではないかと考えております。今年度も例年通り、春の総会に始まり、夏には恒例となりましたふよう夏まつりの開催、秋には芋煮会、その他各専門部による様々な活動を行ってまいりました。役員の方々はじめ、多くの保護者の皆様に御協力いただき、我が附属幼稚園が推進する「二人一役活動」の下、充実した活動を継続することができたのではないのでしょうか。さて、教育の現場では今、教員と学修者が意思疎通を図りつつ、一緒に切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学修者が主体的に問題を発見し解を見出していくという「アクティブ・ラーニング」への転換が必要であると叫ばれています。同じようにPTAという舞台においては学修者である我々が一緒になって、主体的に問題を発見し、より良い解を見出していければと考えております。そして、それが子ども達・教職員・保護者、さらに学校園の明るい未来へ繋がっていくことを願っています。

附属幼稚園PTA会長 浅野 和宏

PTAに求められるもの

所感

附属小学校PTA会長 黒澤 博志

今年度は校舎改修工事に伴って例年と少し異なるPTA活動となりましたが、皆様のご理解とご協力をいただき、つつがなく全員参加型の一人一役の活動を行うことができました。附属小学校のPTAの組織と活動内容は、平成十七年度に先生方と保護者が先を見据えた意見を出し合いながら熟慮し、一年間かけて改革されました。だからこそ、十年経過した現在でも大きな問題もなく機能しているものと思います。当時の役員の方々に心より敬意を表します。さて、六年生の「ほおのきアスリートクラブ」は、山形県小学生陸上競技大会の女子四百メートルリレーにおいて見事一位となり、神奈川県の日産スタジアムで開催された全国大会に出場することができました。子ども達の能力と努力、先生方の確かな指導、保護者のご支援の三つのベクトルが同じ方向に働いたことにより大きな力となり、偉業を成し遂げることに繋がったと思います。先生方と保護者の行いは、子ども達を輝かせるために必要で十分意義のあるPTA活動と言えるのではないのでしょうか。結びに、私は二人の子どもが附属小学校でお世話になり、十年間PTA活動を行ってまいりました。この春、子どもの卒業とともに私の小学校での活動が終了します。今までありがとうございました。